

診断に基づく大豆栽培改善技術導入支援マニュアル

大豆診断楽々ナビゲーション

近年の大豆栽培においては、単収の低迷と年次変動の増大が問題となっている一方で、どの技術を導入すべきか分からない場合などの問題があります。そこで、大豆栽培を行う上での、1) 排水不良・湿害、2) 干ばつ害、3) 肥沃度不足、4) 黒根腐病害、5) 子実食虫害、6) 雑草害の6項目についての診断と対策技術を提示するスマートフォンに対応したマニュアルを作成しました。

☆ 技術の概要

1. このマニュアルは、上記の6項目のリスクを簡易診断する導入部、リスクが高い項目をフローチャート式の条件別診断と対策を示す診断・対策部、詳細な個別の対策内容を示す解説部の3部構成からなるシステムです。
2. 導入部は18の設問のアンケートに回答することで、6項目のリスクを大まかに診断し、その結果をレーダーチャートに表示するとともに診断・対策部に誘導します(図)。
3. 診断・対策部は設問に対しての回答や画像による確認を実施して、フローチャート式に状況を判断することにより、対策すべき技術の選択や導入の可否についての判断を支援します。
4. 解説部は個別技術を詳細に解説した個別技術マニュアル、解説書、技術パンフレットおよび関係する技術情報が掲載されているサイトへのリンク一覧から構成されています。

☆ 活用面での留意点

1. このマニュアルは、農林水産省委託プロ「多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発」で実施された研究成果によるものです。
2. 「導入部」、「診断・対策部」はスマートフォンに対応したレスポンシブWEBデザインとしていますが、「解説部」はPDF版のダウンロードやPC用関連サイトへの誘導によるため、PC上での利用を推奨しています。
2. 詳細は、下記URLにあります「診断に基づく栽培改善技術導入支援マニュアル」
https://www.naro.affrc.go.jp/project/research_activities/laboratory/carc/134256.html をご覧いただくとともに、農研機構中央農業研究センター研究推進室広報チーム(電話 029-838-8481)へお問い合わせください。

(農研機構 中央農業研究センター 土壌肥料研究領域 大野 智史)

診断に基づく大豆栽培改善技術導入支援マニュアル



図 6項目のリスクを簡易に診断する導入部